

※スピーチ1～5をそれぞれ冒頭スピーチとまとめスピーチのあいだに入れて読みましょう。

<基本文> 冒頭スピーチ

みなさんこんにちは。

わたしたちは、核兵器のない平和で公正な世界をめざして行進（行動）する、神奈川県平和行進です。1958年以来毎年、8月の広島・長崎をめざして、神奈川県でも、全国でも行進しています。平和行進はだれでも、どこからでも、一歩でも二歩でも参加できます。みなさんの平和への想いを足取りに込めて、ごいっしょに歩きませんか？

78年前の広島、長崎の悲劇を二度と繰り返さないために、核兵器はなくすしかありません。

ごいっしょに歩き、声をあげ、核兵器のない世界を実現しましょう。

いま圧倒的多数の国々が、ロシアのウクライナ侵略に抗議し、ロシア軍の無条件撤退を要求しています。世界中で抗議の声がひろがっています。

戦争をしない、武力をもたないと誓った憲法9条を持つ日本から、平和を求める世界の人々とともに、「ロシア軍はいますぐ撤退を！」「国連憲章を守れ！」と声をあげ、行動しましょう。

みなさん、

2017年7月、国連は、圧倒的多数の国の賛成で核兵器禁止条約を採択しました。条約は2021年1月に発効し、核兵器は、使用や威嚇はもちろん、つくることとも持つことも、他国に持ち込むこともすべて違法となりました。

日本は唯一の被爆国です。真っ先に核兵器禁止条約に参加し、世界に核兵器廃絶を呼びかけるべきです。そのために、私たちはみなさんに署名をお願いしています。

被爆者もともに呼びかけているこの署名に、あなたの名前を書き加えてください。

<スピーチ1>総論・リードアピール

みなさんこんにちは

わたしたちは、核兵器のない平和な世界をめざして行進（行動）する神奈川県平和行進です。

国連で2017年に採択され、2021年に発効した核兵器禁止条約は、現在、署名した国は92か国、批准は68カ国と着実に前進しています。しかし、日本政府はいまだ条約に参加をしようとしません。私たちは、「日本政府は核兵器禁止条約に署名し批准を」と訴える署名を呼びかけています。

核兵器禁止条約の歩みはロシアがウクライナに侵略し、核兵器使用の威嚇をしている今だからこそ、核兵器はすみやかに禁止されなければなりません。

広島・長崎の被爆から78年、「命あるうちに核兵器の廃絶を」「原爆で苦しむのは

私たちを最後にして欲しい」という被爆者の願いに添えるためにも、核兵器の使用を許してはいけません。核兵器の使用を防ぐ唯一の保証は核兵器を一つ残らずなくすことです。

戦争による唯一の被爆国であり、平和憲法を持つ日本こそ、核兵器禁止条約に参加し、世界に「戦争反対」「核兵器なくせ」と強く発信するべきです。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めましょう。

一人ひとりの声と行動で、核兵器禁止条約に参加する日本を実現しましょう。

あなたも署名にご協力ください。あなたの一筆が、日本を、世界を動かします。

<スピーチ2> 敵基地攻撃能力保有・大軍拡

みなさんこんにちは

わたしたちは、核兵器のない平和な世界をめざして行進（行動）する、神奈川県平和行進です。

いま、岸田政権は、他国への軍事攻撃を想定した「敵基地攻撃能力」をもつための法案を国会に提出し、議論がされています。これは相手がミサイルを発射する前に、先制攻撃しようとするものです。

また、岸田政権は、防衛予算を一気に10兆円に増やしました。しかし、武器を増やせば、日本がほかの国にとって脅威となり、緊張を高めることとなります。

国民の命や暮らしは守れず、アジアの平和どころか、戦争の危険が増すばかりです。武力で平和はつくれません。日本政府に、外交と話し合いの力で平和を実現するよう求めましょう。

<スピーチ3> 福島原発事故

みなさんこんにちは

わたしたちは、核兵器のない平和な世界をめざして行進（行動）する、神奈川県平和行進です。

福島の原発事故から12年が過ぎました。しかし、いまでも福島県内の7市町村に立ち入り禁止の帰還困難地域があります。原発事故は終わっていません。

政府と東京電力は原発事故の幕引きを図り、避難者の支援打ち切り、無責任な帰還政策を進めています。

さらに国民の不安をよそに、放射性物質を含む汚染水を「処理水」と言い換えて海にたれ流し、電気料金の値上げを口実に老朽原発の再稼働を進めています。

福島のみなさんといっしょに、被災者への支援と補償、原発いらない！再生可能エネルギーへ転換を！との声をあげましょう。

平和行進は、だれでもでも、どこからでも、一歩でも二歩でも参加ができます。核兵器も核被害も戦争もない世界な世界をめざして、ごいっしょに歩きましょう。

<スピーチ4>核兵器禁止・廃絶を世界に呼びかけよう

みなさんこんにちは

わたしたちは、核兵器のない平和な世界をめざして行進（行動）する、神奈川県平和行進です。

5月19日から被爆地広島で、G7サミットが開かれます。7月には2026年NPT再検討会議の準備の話し合いが始まります。日本政府は唯一の被爆国、戦争放棄の憲法を持つ国として、核兵器の廃絶と国連憲章にそった紛争の平和解決を呼びかけるべきです。

世界の首脳にノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキ、ノーモアヒバクシャの声を伝えるよう求めましょう。

<スピーチ5> 平和行進に寄せられる声を広島へ長崎へ世界大会へ

わたしたちは、核兵器のない平和な世界をめざして行進（行動）する、神奈川県平和行進です。

毎年8月は被爆地広島と長崎で原水爆禁止世界大会が開かれます。

世界大会では「核兵器のない世界」の実現のため、被爆者をはじめ、各地の核被害者、各国政府や反核平和運動の代表、核兵器に反対する科学者や有識者、自治体関係者が集まります。そしてこの運動に賛同する人は、どなたでも参加できます。

みなさんの平和への願いを、原水爆禁止2023年世界大会に集めましょう！

広島、長崎から声をあげましょう！

<まとめ文> 最後に読みましょう>

わたしたちは、核兵器のない平和な世界をめざし、行進・行動する、神奈川県平和行進です。

広島・長崎を、その身で経験した被爆者のみなさんは、すでに平均年齢84歳を超えています。原爆投下から78年を経て、今なお身体を蝕む原爆症と闘いながら「ヒロシマ・ナガサキを繰り返すな」「核兵器の廃絶を」と訴え続けています。

被爆者のみなさんは、核兵器で威嚇をするプーチン大統領に怒り、戦火に怯えるウクライナ市民に心を寄せ、いてもたってもいられないと高齢の身体をおして街頭に立ち、「核兵器はぜったいに使わせてはならない！だからこそ、核兵器はなくさなければなりません！」と声をあげています。

一人ひとりの声と行動で核兵器禁止条約に参加する日本を実現しましょう。

あなたも署名にご協力ください。あなたの一筆が、日本を、世界を動かします。

憲法を変える動きが盛んになっています。日本国憲法を書き換えるのではなく、日本国憲法を活かした日本、平和外交こそ、日本が世界に向けて果たす役割です。

みなさん

この平和行進は、どなたでも参加できます。一歩でも二歩でも、スタンディングでも、おうちでも、平和を願う心をつなぎ、広げましょう。